

琉球大学学術リポジトリ

はしがき

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学アジア太平洋島嶼研究センター 公開日: 2012-02-01 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 大城, 肇 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/22967

は し が き

奄美と琉球・沖縄は、歴史的なつながりが深く、文化的にも自然生態系的にも類似性を有している。それゆえ、奄美を知り、沖縄を知ることは、お互いを相対化することができ、また、アジア・太平洋地域における奄美・沖縄の位置づけやアイデンティティを知り、今後の地域発展の方向性についての知見を得ることにつながる。

第二次世界大戦後の一時期、短期間であったが、1952年4月1日から1953年12月24日までの間、大島女子高校内に琉球大学大島分校が設置され、本学が奄美地域の人材育成に携わった時期もあった。その地理的・歴史的条件下から、奄美地域と琉球・沖縄および琉球大学との絆は切っても切れないものがあるが、奄美群島の日本復帰後はその関係はかつてに比べ弱いものとなっていた。

このたび、琉大同窓会奄美支部の強い要望に応え、森田孟進学長の特命で奄美研究班をアジア太平洋島嶼研究センター内に設置し、奄美に関する融合的研究の推進と成果の還元（出前講座と琉大説明会）を図ることになった。

奄美分校以来、多くの琉球大学の卒業生が同窓として奄美および全国の各界で活躍していることは、本学の貴重なネットワークであり、母校が卒業生たちとの絆を強め、連携して教育研究の成果を地域へ還元することは、本学に課せられた使命の一つでもある。

この報告書は、平成19年4月、5月及び11月に実施した「奄美研究班の設立記念フォーラム」、「鹿児島県立大島高等学校での琉大説明会」及び「第1回出前講座in奄美」、「第2回出前講座in奄美」及び「奄美・沖縄経済連携フォーラム」の実施概要をとりまとめたものである。

出前講座は、奄美についての共同研究の成果を市民に公開する目的で実施した。出前講座へ参加していただいた地元・奄美市民の皆さんの反応と期待は大きいものがあつたが、その期待と要望に応えるべく奄美研究を継続して推進していけるよう、大学のご理解とご支援を切に要望したい。

平成20（2008）年3月15日

アジア太平洋島嶼研究センター
センター長 大城 肇